

# 第37回 近畿作業療法学会

会期 2017年 10月1日(日)

会場 奈良県文化会館  
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

学会長 東條 秀則  
医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

主催 近畿作業療法士連絡協議会

担当 一般社団法人 奈良県作業療法士会



## 作業を考える

～クライアントにとっての意味とは～



ごあいさつ  
第37回近畿作業療法学会 学会長  
東條 秀則

第37回近畿作業療法学会を、2017年10月1日(日)に奈良市にあります奈良県文化会館にて開催いたします。今回は「作業を考える ～クライアントにとっての意味とは～」をテーマとしました。日本作業療法士協会が作業療法の定義の改定に取り組んでいる現在、作業とは何かを今一度考えてみたいと思います。その定義の中で「社会参加」をとらえる上で重要な概念としての作業の意味について、特別講演にて県立広島大学の吉川ひろみ先生に講義をしていただきます。その点を踏まえ、教育講演では各領域での「社会参加」への働きかけを含めて講演をしていただきます。更に前述の作業療法の定義の改定につきまして、日本作業療法士協会との共同企画として改定の経緯・ねらいといったところを日本作業療法士協会の理事の方から、ランチョン・セミナーとしてお話しいたします。特に若手の方に聞いていただきたいと考えており、ご自身の足元を見つめ直す機会となればと思います。

以上、全体を通して作業とは? 作業の意味・社会参加とは? といった点を熟考する機会としたいと考えています。演題発表でも「社会参加」のセッションを設けることをねらっております。そういった演題応募も検討いただけますと幸いです。

皆様、ふるって演題応募とご参加をどうぞよろしくお願いたします。

学会会場周辺には、日本の原風景ともいえる観光名所がひしめき合っています。歴史情緒に溢れた奈良市にぜひ足を運んでいただけますようお願い申し上げます。

事務局 連絡先  
奈良県総合リハビリテーションセンター  
〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地  
E-mail: 37.kinki.ot@gmail.com

<http://kinot37.umin.jp/>

特別講演

作業の意味をどう考えるか (仮題)

県立広島大学 吉川ひろみ氏

教育講演

新しい身体で作業に結びつく (仮題)

日本保健医療大学 齋藤 佑樹氏

参加 -精神科領域の作業療法士として- (仮題)

京都府立洛南病院 岩根 達郎氏

子どもの発達は私にとっても作業療法 (仮題)

愛知県心身障害者コロニー中央病院 小松 則登氏

生活期リハビリテーションにおける

「活動」と「参加」 (仮題)

有限会社いきいきリハビリケア 深井 伸吾氏

演題募集期間 4月3日月 ▶ 6月2日金 17:00

事前参加登録受付期間 7月3日月 ▶ 9月15日金 12:00

※演題登録は、学会ホームページの案内に従って、必要項目(発表形式、演題本文など)を入力、応募して下さい。

※本年度は、事前参加登録受付者も当日会場で学会参加費のお支払いとなります。(日本作業療法士協会会員かつ都道府県士会員が原則)